

せしめい文をよみとる

名前

組番

月日

正答数

5

ねらい

●ことごらのじゅんじよをかんがえながらいふよつをよみとるこつがでまいる。

もんだい

つぎの文しよをよんで、あどのもんだいにこたえましよ。

とりのくちばしには、いろいろなかたちをしたものがあります。きつつきは、このくちばしは、さきがとがつています。きつつきは、このくちばしで、木のみきをつついてあなをあけます。そして、中にいる虫をとつてたべます。

つるのくちばしは、ながくのびています。つるは、このくちばしで、ぬまや田んぼにいたにしや小さいさかなをつまんでたべます。

ペリカンのくちばしは大きくて、水をふくむと、下がわがふくろのようにふくらみます。このくちばしに、がぶりと水をふくみ、水といっしよにさかなを口の口にいます。

どのとりのくちばしも、えさをとつてたべるのにつごうのよいかたちになつています。

ポイント

せしめいされていることをじゅんばんによみとりましよ。

とりのくちばし：「いろいろなかたち」をしている。

たとえば？

・きつつき：「さきがとがつています」↓木にあなをあけ、虫をとつてたべる。

・つる：「ながくのびています」↓たにしや小さいさかなをつまんでたべる。

・ペリカン：「大きくて、水をふくむと、下がわがふくろのようにふくらみます」↓水といっしよにさかなを口の口にいます。

「えさをとつてたべるのにつごうのよいかたち」

(1) この 文 しようには、どんな ことが かいて ありましたか。つぎの に あてはまる ことばを、文 しようの 中から ぬきだしましょう。

① とりの くちばしの

② の とりかた。

(2) きつつき・つる・ペリカンの ①くちばしの かたちと ②えさの とりかた について まとめました。 に あてはまる ことばを、文 しようの 中から ぬきだしましょう。

● きつつき

① くちばしは、さきが とがって います。

② 木の みきを つついて あなを あけ、中に いる 虫を とって たべます。

● つる

① くちばしは、ながく います。

② ぬまや 田んぼに いる たにしや 小さい さかなを つまんで たべます。

● ペリカン

① くちばしは 大きくて、水を ふくむと、下がわが ぶくろのように ふくらみます。

② くちばしに、がぶりと 水を ふくみ、水と いっしょに

を 口の中に入れて。

(3) とりの くちばしに ついて、どんな ことが わかりましたか。 あてはまる ことばを かきましよう。

どの とりの くちばしも、えさを とって たべるのに

つごうの よい になって います。



もんだい(1)の ①と ②の ことは、
かんけいがある ことだったんだね。

せつめい文^{ぶん}をよめる



- (1) ① かたち
② えさ
- (2) ● つる
① のびて
● ペリカン
② さかな
- (3) かたち

- (1) それぞれの とりに ついて、くちばしの かたちと、えさの とりかたが かいて あります。
- (3) きつつき・つる・ペリカンのくちばしは、みな それぞれに えさを とって たべるのに べんりなかたちを して いるのが わかります。

せしめら文をよみよる

正答数

5

マーク



月

日

年

組

番

名前

つぎの 文しよを よんで、下の もんだいに こたえましよう。

うみの なかを、おおきな かたまりが うごいて います。ゆらゆらと たちを かえながら、ときおり きらりと ひかっています。

イワシの むれです。

かぞえきれないほど たくさんの イワシが あつまって、を つくって いたのです。

イワシは うみに すむ さかなです。えさを もとめて うみの なかを いつも むれで およいで います。

イワシが くちを おおきく あけて およぐと、えさの プラントンが どん どん くちの なかに はいって きます。プラントンは みずの なかを ただよって くらす いきものです。

イワシの むれは プラントンを たべながら うみの ひょうめんちかくまで やって きました。すると……

バシャーン！

とつぜん なにかが うみの なかに とびこんで きました。イワシを たべる コアジサシです。コアジサシは そらを とびながら、ねらいを さだめて うみに とびこみ、イワシを つかまえます。

イワシの むれは うみの ふかい ほうへと にげだしました。

(大川忠明「イワシ むれでいける さかな」より)

(1) に 入る ことばを 文しよの 中から 二字で ぬきだましよう。

(2) イワシは どのように して えさを とりますか。つぎから 一つ えらびましよう。

- 1 うみに いろいろな わなを しかける。
- 2 きらりと ひかっ て おどろかす。
- 3 くちを おおきく あけて およぐ。

()

(3) イワシが えさに して いる いきものは なんですか。文しよの 中から ぬきだましよう。

(4) コアジサシは、どのように イワシを つかまえますか。に あてはまる ことばを 文しよの 中から 三字で ぬきだましよう。

そらを とびながら

を さだめて うみに

とびこむ。

(5) コアジサシが やって くと、イワシは どう しますか。つぎから 一つ えらびましよう。

- 1 うみの ふかい ほうへ にげる。
- 2 いわの かげに かくれる。
- 3 コアジサシと たたかう。

()

せしめら文^{ぶん}をのみする

- | | | | | |
|-----|-----|------------|-----|-----|
| (5) | (4) | (3) | (2) | (1) |
| 1 | ねらい | プランク
トン | 3 | むれ |